



# 図書館だより

令和8年2月号  
宇都宮市立清原中学校



ミラノ・コルティナオリンピックがはじまりました！

2月6日（金）から22日（日）までイタリアのミラノと

北部の山岳地帯コルティナで冬季オリンピックが開催されます。

全部で8競技116種目の競技が行われます。新競技として

山岳スキーが加わりました。登山技術を駆使して雪山を駆け抜ける競技です。

その他にも冬ならではのダイナミックなスキーのジャンプや、回転技が見どころのスノーボードのハーフパイプなど見ていて楽しい競技がいっぱいあります。



## 今月のおすすめ

冬のスポーツ



「向かい風で飛べ！」 乾ルカ/著 中央公論社 913 イ

北海道の小さな町の小学校に転校してきた5年生のさつき。なかなかクラスに  
はじめないでいましたが、同じクラスの理子に誘われて、スキーのジャンプを始  
めることになります。「向かい風」はジャンプにおいては、大きく飛ぶためのチ  
ヤンスだそうです。さつきと理子のジャンプにかける青春の物語です。



「カッコウの卵は誰のもの」 東野圭吾/著 光文社 913 ヒ

元オリンピック選手のトップスキーヤー緋田。彼の一人娘は彼をもしのぐスキ  
ーヤーに成長します。誰もが親から受け継いだ才能だと思っていました。娘の所  
属チームの研究者から、有能なスポーツ選手の親子の遺伝子を調べたいと依頼さ  
れます。了承できない理由がありました。その理由とは？冬季スポーツとオリ  
ンピックをこよなく愛する東野圭吾さんのスキーミステリーです。



「まるわかり！パラリンピック 雪・氷のうえで競う！冬の競技」

公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会/監修 文研出版 78 ニ

パラリンピックでは障がいの程度によって、体の安定を保つために工夫された  
道具を使います。競技によっての道具や、ルールの説明があるのでパラリンピッ  
クがより楽しめます。パラリンピックも迫力のある競技がたくさんあります。



### 返却期限のお知らせ

今年度の最終返却日は

☆3年生… 2月27日（金）まで

☆1・2年生… 3月6日（金）まで

借りている本はすべて返却をお願いします。

※返却日を守ろうキャンペーン

2月2日（月）～3月6日（金）

### 図書室の利用について

#### 図書整理日

3月9日（月）～13日（金）

この期間は本の貸出はできません。

館内でご利用ください。

#### 春休み特別貸出

3月16日（月）

～24日（火）





### 「図書館ボランティアさんへの感謝の会」

2月4日（水）の業間に「図書館ボランティアさんへの感謝の会」を行いました。図書委員会副委員長が感謝の言葉を伝え、図書委員が作成したカードを手渡しました。



図書館ボランティアさんは毎月1回、3名で図書室の支援活動をしています。新しく入った本のお知らせの掲示物を作ったり、汚れた本や棚をきれいにしてくれました。一年間、ありがとうございました。

## 私の推し本①

3年生図書委員から、1・2年生のみなさんへ



A・Sさん

「夢をかなえるゾウ」 水野敬也 913 ミ

関西弁を話す自称神様のゾウ、ガネーシャが出す課題をすることで、夢を追い求める人が変わっていくストーリーです。ガネーシャと人との会話がおもしろかったり、人生で役に立つ知識もあつたりするのでおすすめです。

M・Rさん

「木の教え」 塩野米松 65 シ

日本人は木と共に生き、木に学んだ教訓を受け継ぎできました。奈良の法隆寺は千三百年前からその技法や知恵を引き継ぎ、守られてきました。法隆寺についてわかるので、修学旅行が楽しみになります。

T・Dさん

「民主」 池井戸潤 913 イ

ある日突然、内閣総理大臣の武藤泰山と息子の翔の人格が入れ替わってしまい、そのまま生活することになります。政治に全く興味がなく、ろくな漢字も読めない中身が翔の総理が、国会答弁で苦労するところがおもしろいです。

S・Kさん

「密室を開ける手」 藤本ひとみ 913 フ

高校生の主人公が父親が隠していた秘密を探るミステリーです。仲間との信頼関係や物事を冷静に観察する力の大切さが感じられます。高校生になった「探偵チームK2事件ノート」のメンバーたちが、事件に向き合いながら成長していく姿に感動できます。

K・Sさん

「か「」く「」し「」ご「」と「」」

住野よる 913 ス

なんの役にも立たないけど少しだけ特別な力を持った高校生5人が、その力を隠しながら恋愛をしていく青春小説です。特別な力のせいで、好きな人への疑問が少しずつ増えたり、減ったりするところが面白いです。

M・Sさん

「#真相をお話します」

結城真一郎 913 ュ

小説の舞台はSNSが普及した現代社会です。一見普通の日常生活のなか、登場人物が巻き込まれる不可解な出来事の真相にせまります。予測不能などんでん返しを体験してみてください。

# 私の推し本②



A・Sさん

「西の魔女が死んだ」 梨木果歩 913 ナ

中学に入り学校へ行くのがつらくなった少女まいがイギリス人の祖母「西の魔女」のもと、大自然に囲まれた生活を過ごす中で生きる力を取り戻していく物語です。おばあちゃんが「自分の心を大切にしなさい」と教えるシーンや、まいの心が成長していく様子が心に残ります。

K・Tさん

「ざんねんないきもの事典」

今泉忠明 480 イ

ざんねんといわれてしまう生きものたちの生態がおもしろおかしくまとめられています。例えば、「サイの角はただのいぼ」など、知っている生きものからめずらしい生きものまでさまざまな生きものが出てきます。おもしろくて勉強になります。

H・Sさん

「そしてバトンは渡された」

瀬尾まいこ 913 セ

幼いころ母親を亡くし、父親も海外へ赴任せてしまった優子。高校生の今は二十歳しか離れていない義理の父と暮らしています。大人の事情に振り回されながらも自分らしく生きようとする主人公の姿に感動します。

K・Hさん

「君の臍臍をたべたい」 住野よる 913 ス

臍臍の病で余命がわずかな桜良の秘密の日記帳を、クラスメイトの主人公が拾ったことから物語が始まる青春物語です。生きることの大さや意味を考えさせられました。

K・Dさん

「正しく疑う」 池上彰 36 イ

闇バイトや生成AIなどの見分け方が書かれており、正しく疑うことの大さがわかります。情報の見方が変わるので、ぜひ読んでください。

K・Rさん

「10代のうちに考えておくこと」

香山リカ 15 力

中学校の3年間の間にしかできないことや、自分が挑戦してみたいことを、この本を通して見つけてほしいと思いおすすめしました。10代によくある悩みごとがまとめてあるので、共感することができます。

3年生のおすすめの本です。原文を少し省略して載せてあります。原文は

図書室の廊下に掲示してありますので、ぜひ見てください。

気になる本があったら、朝の読書の時間などに読んでみよう！

